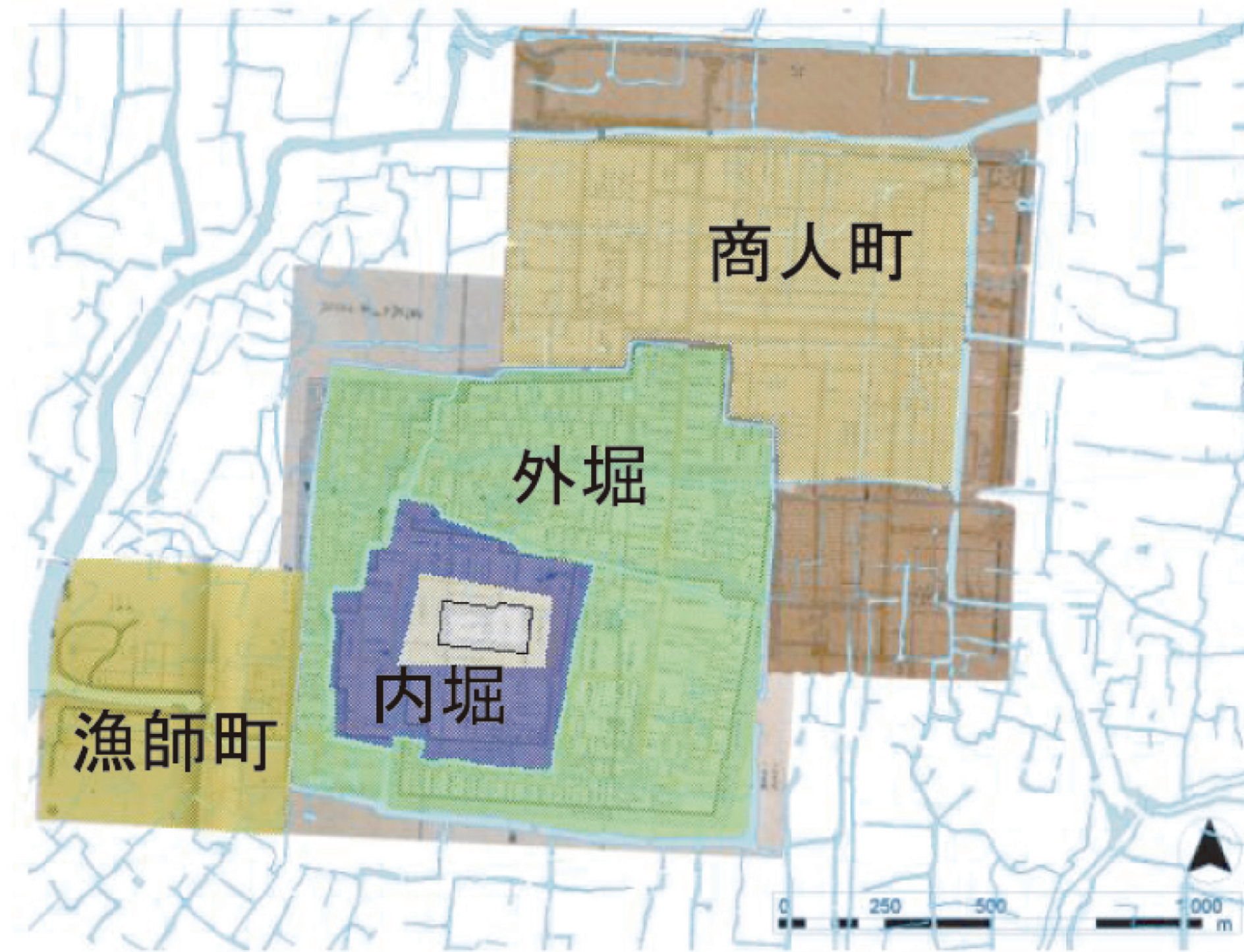


風のひと、水のまち、土のいのち

～堀割が教えてくれたまちづくり～

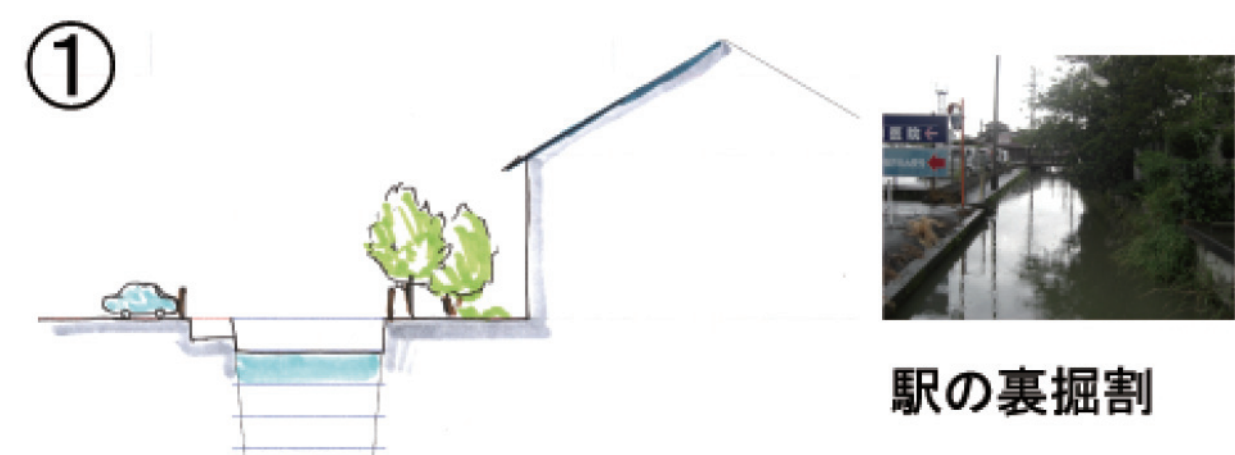
水郷柳川こそは、
この堀割こそは、
まちの景観の母體である
この断面構成、
この水のネットワークにして、
はじめて、
我が生活景は生じ、
まちの修景が成る



かつてのまちの構成



柳川は柳川城を中心に、内堀と外堀で構成された城内地区、西の漁師町の沖ノ端地区、北東の商人町の柳河地区で構成された城下町である。しかし、現在では歴史を感じられる建築物などはほとんどなく、かつては生活の一部であった堀割は、その機能を失っている。それらの堀割の断面に見られる地域性や課題とはどのようなものだろうか。



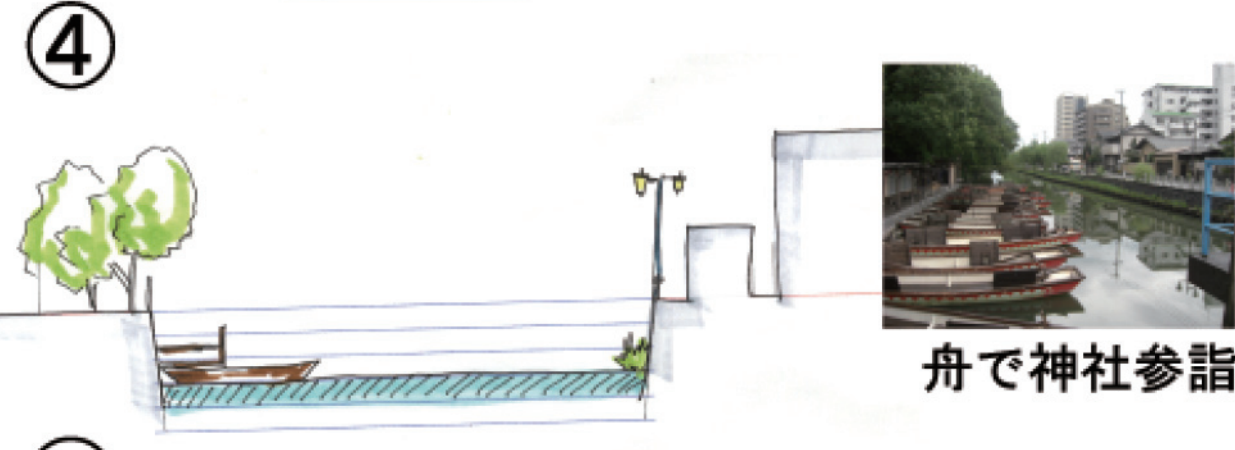
駅の裏堀割



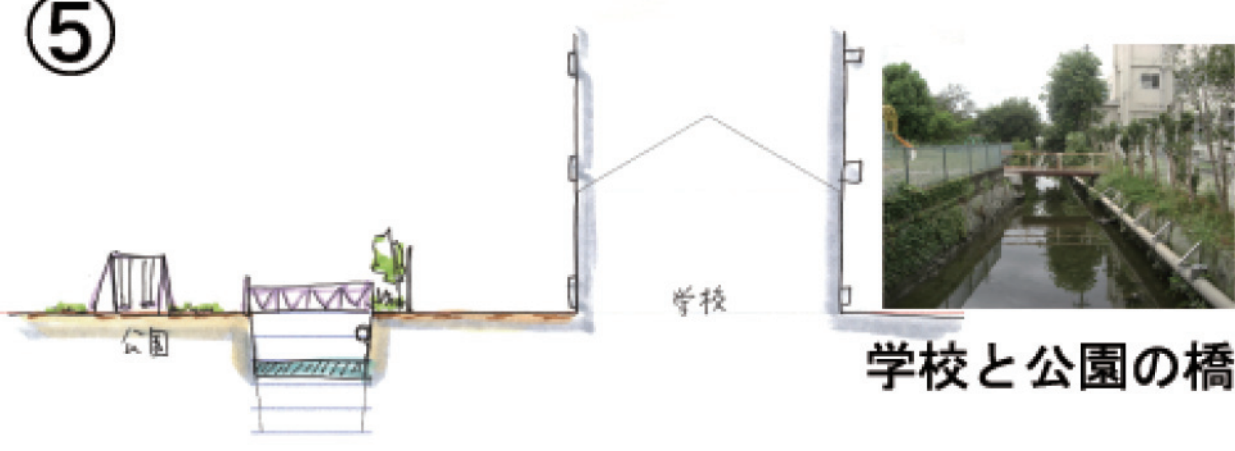
神社参道の小川



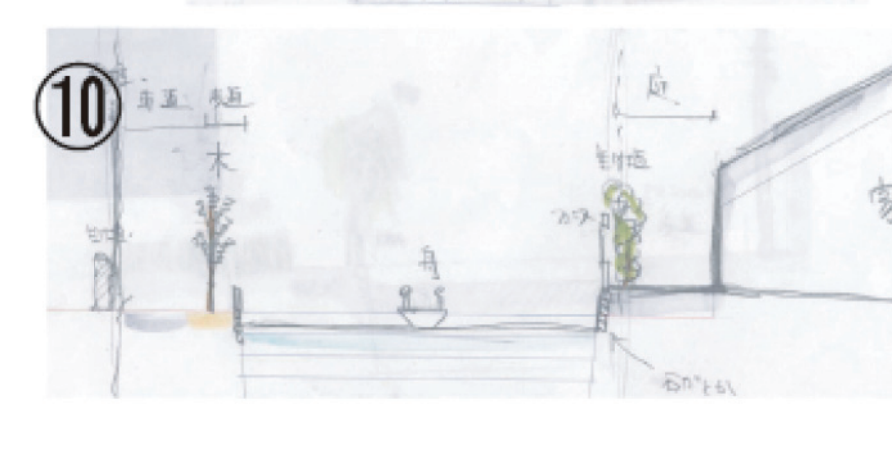
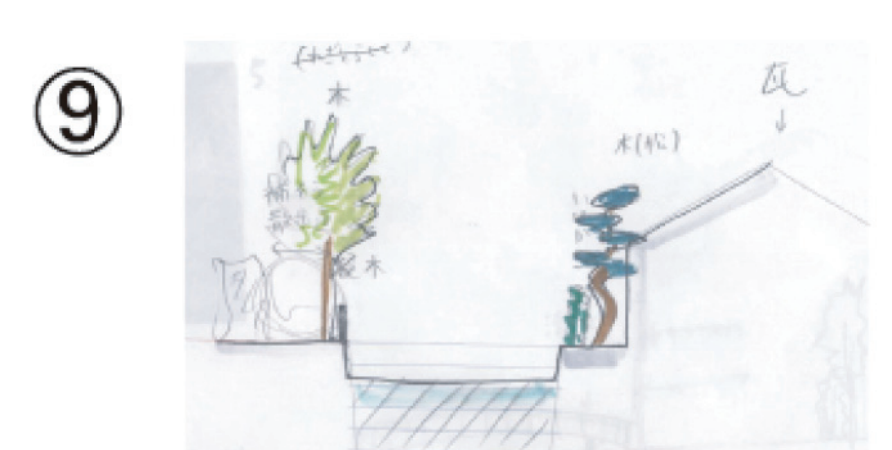
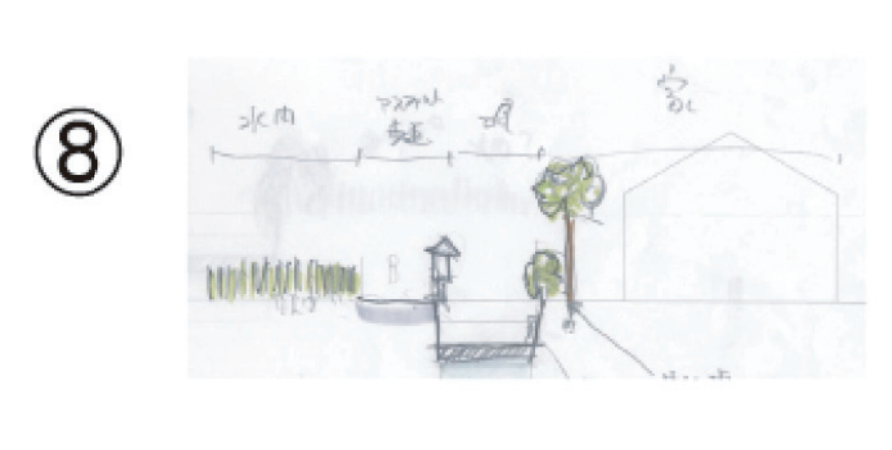
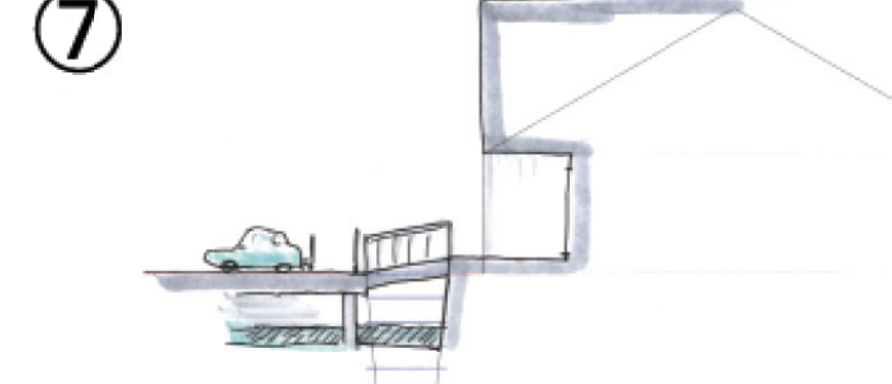
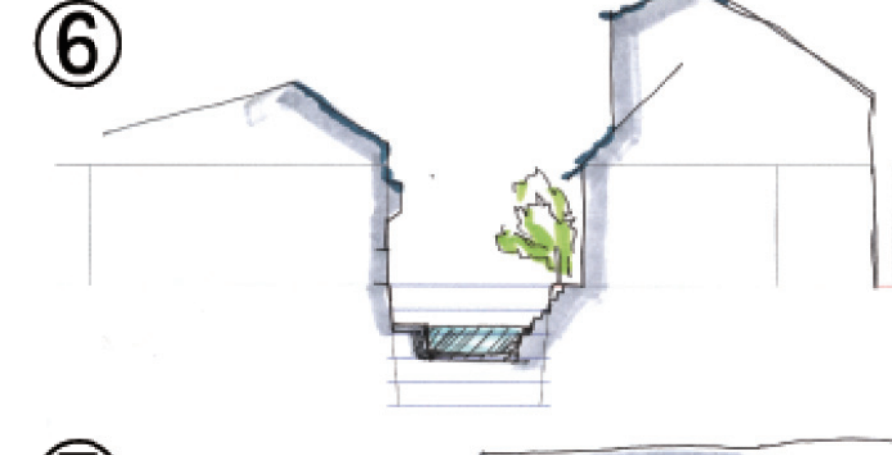
舟下りの玄関口



舟で神社参詣



学校と公園の橋渡し



水汲み場



水上駐車場



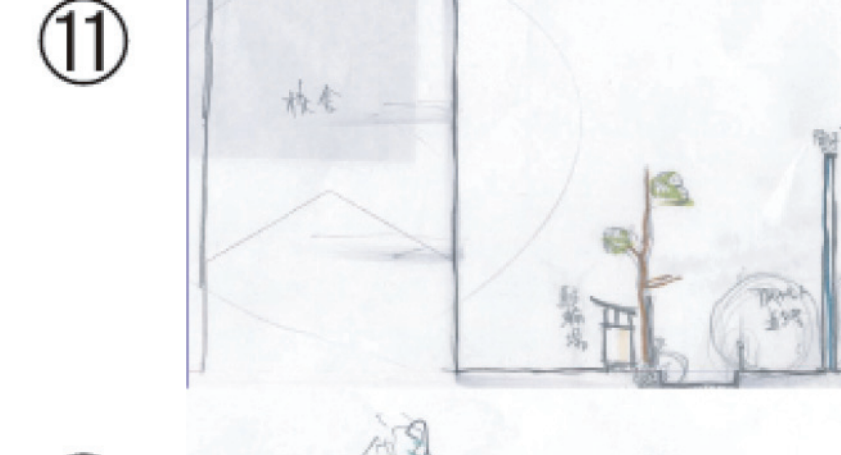
隠れ残された緑達



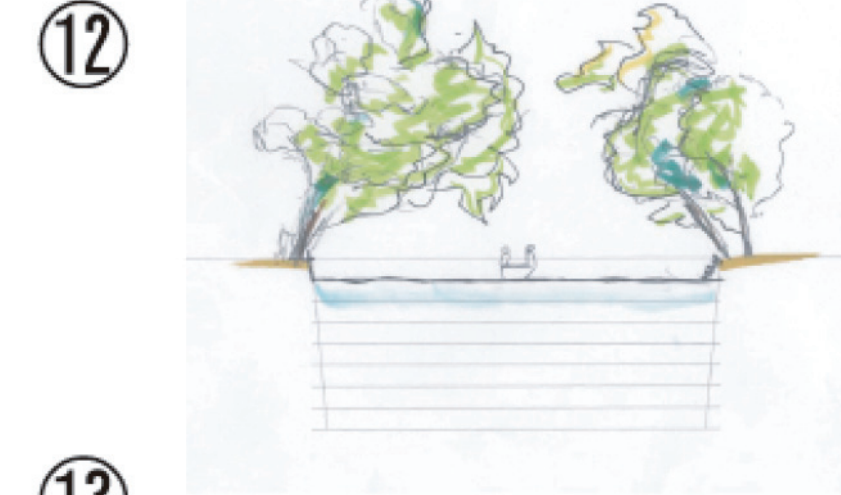
白秋も通る裏庭の抜け道



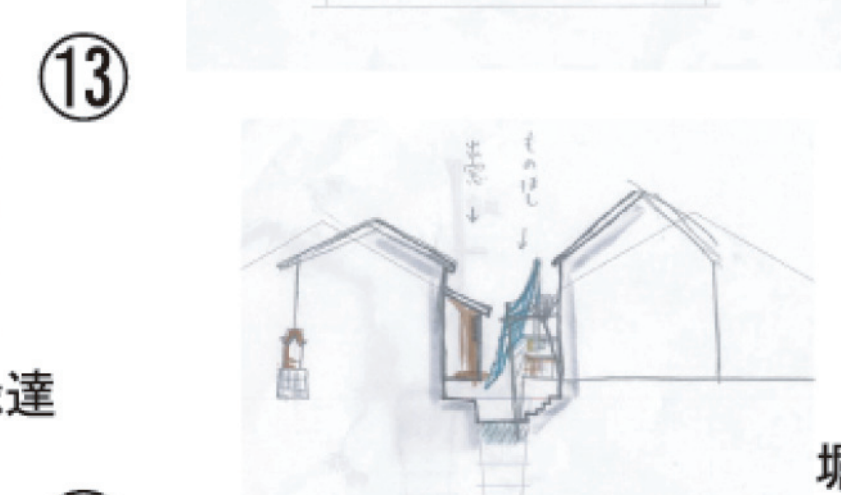
ビューポイントが少ない



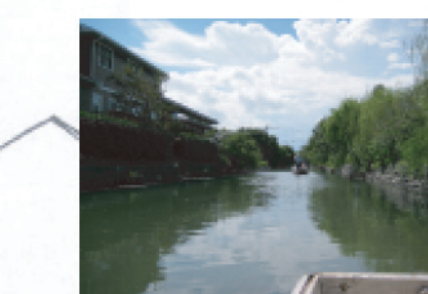
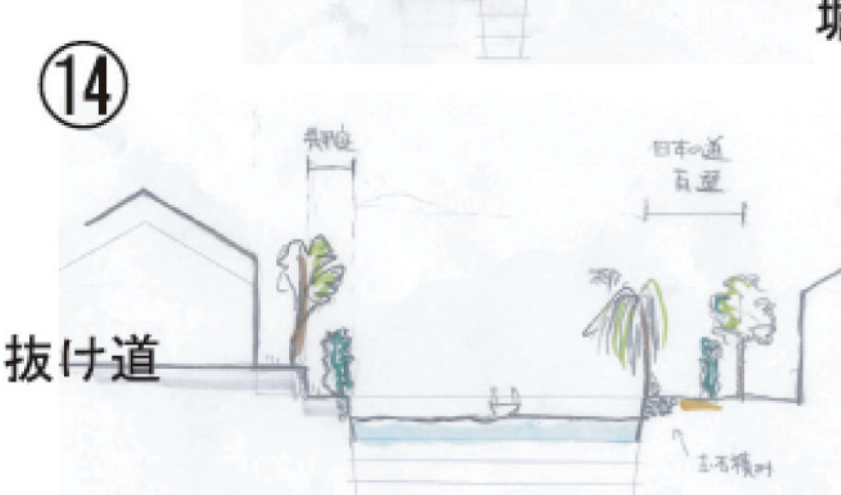
学校から切り離された堀



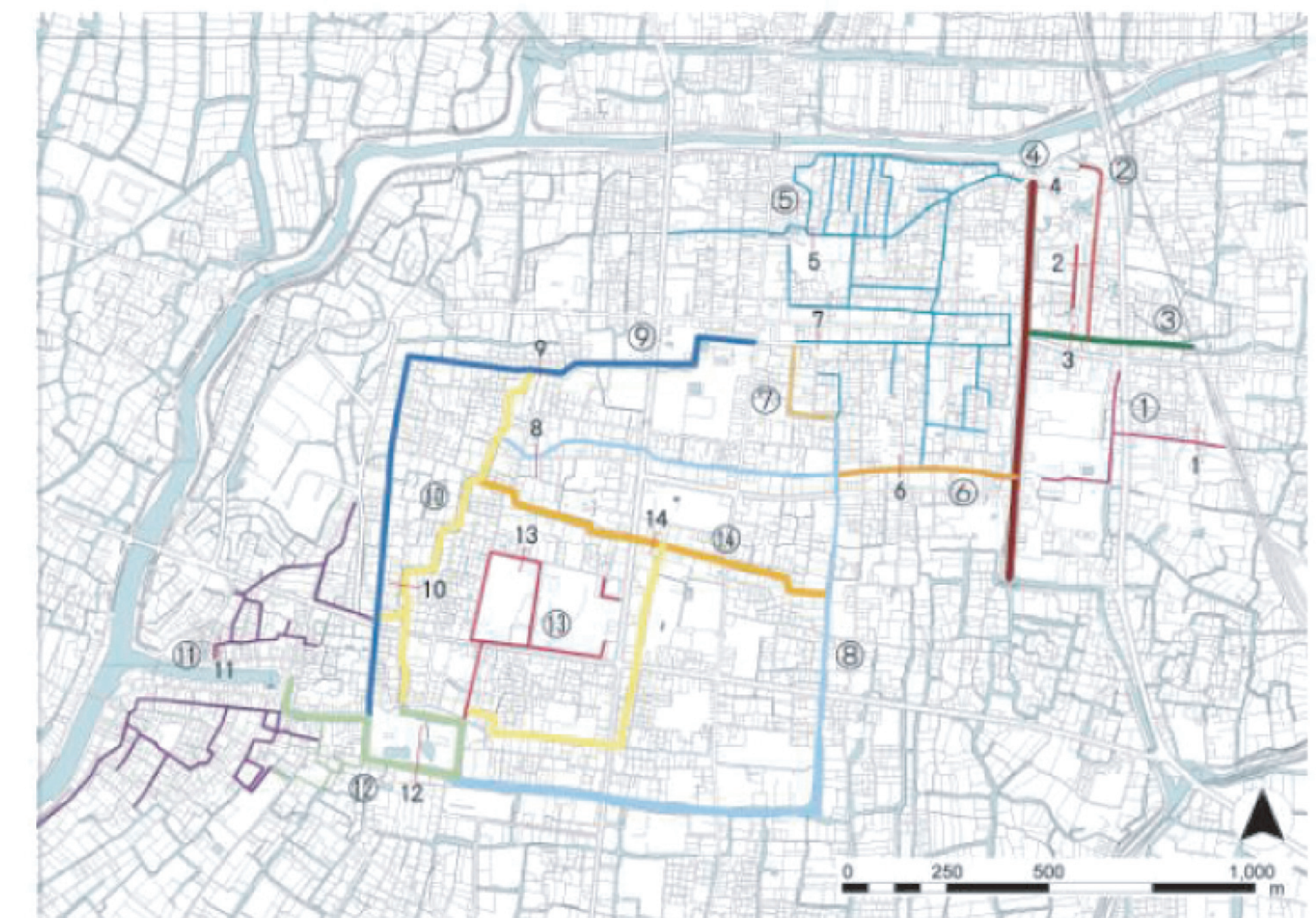
緑のトンネル



堀まであふれた漁師生活



生垣と柳で閉じた道



堀割特性マップ

日本大学大学院
大阪大学大学院
弘前大学大学院
福岡大学大学院
九州大学大学院
泉山墨威
洲濱有紀子
津田純佳
永田哲也
原田慧